

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	銚子市児童発達支援センターわかば		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 2 2 日		～ 令和 8 年 1 月 3 0 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 36名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 2 2 日		～ 令和 8 年 1 月 9 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりの発達の段階を見極め、支援を行っています。全職員が共通して支援できるために、わかばマニュアルを使用しています。	お子様一人ひとりに対して支援のマニュアルがあります。現在の療育の目的が記載されており、お子様の発達の状態や目標が見てわかりやすくなっています。	今後、面接やモニタリングの際に共有できるようにしていきます。
2	単独通園ではありますが、ご家庭でのお子様に対する対応を個別で面談できます。	予約制にしており、ゆっくりお話ができる環境を作っています。	予約制ではありますが、ご相談の際は、できる限り早急に対応致します。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の交流の機会については、交流できる機会を保護者様と考え、提供していきたいと思えます。	就学説明会で同年代のお子様を持つ保護者同士の交流会を開催しました。摂食・嚥下指導では、同じ悩みを持つ保護者様の交流の機械になればと思い開催しました。	保護者の皆様が日々の生活の出来事を話ができる場の提供を考えています。
2	お子様が療育の中でどんなことをしているのかや様子を見て頂く機会を作っていきます。	お仕事をされている保護者の方も多いため、普段は療育の様子を見るのが難しい方もいらっしゃると思いますが、運動会を通して、日頃の療育の成果を見せることができたと思えます。	保護者様にお子様の療育での姿を見てもらえるように見学の充実、運動会を継続して行っていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 銚子市児童発達支援センターわかば

公表日 令和 8 年 3 月 27 日

利用児童数

47名

回収数

36名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	0	0	4		子ども4人に対して1名の保育士が対応できる人員配置となっております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1	0	1	・視覚的な配慮がたくさんあり息子が生活しやすいと思います。	センターは、見学可能です。施設の様子や空間などは是非ご覧ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	35	0	0	1		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2	0	0	・子どもに合わせた支援をしてくれていて、安心してお任せできます。 ・息子の性格・特性をよく理解してくれて、それに合った支援をしてくれています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	0	0	1		個別支援計画は、5領域を中心に立てている「本人支援」保護者面談による「家族支援」、連携による「移行支援」の内容を記載しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	2	0	1		お子様の発達状況や気持ちの安定を考えて、プログラムを作成しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	15	5	6	10	・分からない。	交流については、保護者様にニーズをお聞きしながら検討していきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	3	0	4		現在は、個別面接で対応させて頂いております。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	35	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	3	1	0	・連絡帳に悩みを相談すると丁寧に返答があり、安心します。 ・心理面接をよく利用しています。	事前にご連絡いただくことで、面談できます。お気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	0	1	・困りごとがあったとき、すぐに対応していただき改善策を考えてくれた。 ・話をよく聞いてくれ、電話や面談を通して子どもだけでなく親に対しても支援いただけています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	5	4	6		保護者同士の交流の場として、就学説明会や摂食・嚥下の研修などを初めています。ご参加お待ちしております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	0	0	1		個別支援計画へのご家族支援の記載をさせて頂いております。また、サービス提供記録簿を通して、面接の勧めをさせて頂いております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	0	0	1	・サービス提供記録に様子を書いてくれるので、安心できます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	2	1	2		お子様の活動の様子は、スナップ写真を配布しています。また、お子様の様子は、見学ができます。行事の予定はマチコミでの配信になります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますが。	35	0	0	1		個人情報の取り扱い、写真の掲載などは、年に1回同意書を取らせてもらっております。その他、お気づきの点がございましたらセンターまでご連絡ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	0	4		それぞれのマニュアルに基づき、職員研修を定期開催し、事故等が生じた時に直接保護者様にご連絡させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	0	0	1		センター内で、避難訓練は月1回実施、地域の皆様との訓練年1回、引き渡し訓練年1回実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	0	0	2		クラス内では、机やパーテーションの位置を定期的に確認し、事故が内容に対策しております。また、外遊びでは職員の位置も配慮しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1	0	1		今後も速やかな対応を意識し、取り組んでいきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0	・職員の方々はいつも名前を呼んで優しく声かけしていただき、安心して通所している。 ・先生方に信頼があり、本人も安心していきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	4	0	0	・バスで通うのをとても楽しみにしています。	子どもが楽しみながら発達を促進できるプログラムをこれからも考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	0	・いつも親身になって寄り添ってくださりとても感謝しています。 ・子どもにも親にも寄りそっていただけて感謝しています。ありがとうございます。	

事業所名		銚子市児童発達支援センターわかば				公表日	令和 8 年 3 月 2 7 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定員数を適切にするために利用カレンダーをお願いし、調整している。 ・特性に合わせて個室を用意している。 ・子どもが心地よく過ごせるような環境づくりを工夫している。 ・その日の利用人数により狭く感じる日もある。 ・子どもがわかりやすいようにスペースをわけている。 ・児童の特性に合わせて、個別エリアを作ったりとスペースを確保している。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングで人数と配置の報告を行う。 ・1日の利用人数の管理が整っています。 ・個別に対応が必要な場面において、人員の必要性を感じる。 ・状況に合わせた対応ができるよう体制が整えられている。 	銚子市と相談をしながら人員の増員を検討していきたいと思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化された環境の整備等配慮し、療育にあっている。 ・子どもそれぞれにあったツールや視覚支援が工夫されている。 ・パーテーションや間仕切り等で障害の特性に応じ配慮をしている 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・生活しやすい空間の提供を行っている。 ・活動の際、特性に合わせて場所を設定している。 ・集団・個と状況によって選択できる環境を工夫している。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションを利用し、落ちつける空間を用意している。 ・パーテーションを用いて個室を設けている。 ・個々が過ごしやすいように活動に応じて環境を変えている。 ・個別スペースを作っている。 		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティング時に目標設定を話し、帰りのミーティングで振り返りを行っている。 ・朝と帰りのミーティングにて職員間での共有を行いながら実施されている。 ・アセスメントをしながらその時の一番良いと思う方法で対応している。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、評価表をお願いしており、業務改善できるものであれば、できる限り要望に応えています。 ・1年に1回実施されている ・支援計画を基に児発管が保護者の思いを理解し業務へつなげてくれている。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝と帰りのミーティングにて情報共有を行っている。 ・毎日の朝夕のミーティング等で意見交換や助言を通して改善につなげている。 ・朝夕のミーティングで各ルームの意見を交換している。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		今後も第三者による外部評価を参考にし、よりよい運営に励んでいきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内や法人内での研修を設けてくれ、外部研修に参加しやすい状況をつくってくれている。 ・定期的に研修を設けてくれている。 ・法人内研修や内部研修など行っている。 		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・施設長、児発管と日々の児童の様子を話し合い、共有し、支援方法を検討している。 ・情報共有を積極的に行っている。 ・児発管がクラスに入って保育士と話し合いながら行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・共通理解を行い、相談しながら支援を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・わかばマニュアルに沿って行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・マニュアルを基に話し合っで立案している。 ・施設長を中心に行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・子どもが楽しく参加できるような活動を工夫している。 ・担任を中心にマニュアルを元に段階に合わせて行っている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・日々の変化を捉え、共有しながら支援を行っている。 ・マニュアルの段階に応じて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝と帰りのミーティングで実施している。 ・朝のミーティングにて各クラスの活動を伝え共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・朝と帰りのミーティングで実施している。 ・各ルーム、担任で振り返り、次の日の準備を行っている。 ・担当間で話し合い、改善点や検討についていつも話し合っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・日誌を書くことにより、児童の様子がわかるようにしている。 ・業務日誌に記録し、日々のミーティングでも話し合っている。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0			
関係機関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童の状況に応じて、関係者会議をひらくことがある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・内科、歯科健診を定期的に行っている。 ・健診の際、情報共有を行い、連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・就学前などの児童の様子をコーディネーターの先生が来所し、共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0	・相談員を通して連携を図っている。	支援者を集めた研修会を実施し、地域全体の質の向上に務めていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
や 保 護 者 と の 連 携	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0	・参加しやすい体制が整えられている。 ・PT、STが月1回来所し、アドバイスを頂いている。 ・定期的な外部から助言や研修を受けている。 ・PT、ST訪問やその他、積極的に研修を受けている。	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0	・銚子市で行われている子育て支援会議に定期的に参加している。	積極的に地域の会議に参加し、意見交換を続けていきます。
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	/	/		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	・以前は行っていたため、機会があったらまた交流したい。 ・今後、機会を設けていければ良いと思う。	保護者様のニーズ、人員配置の検討を踏まえて勤めていきます。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・受け入れ、受け渡し時にコミュニケーションをとるよう工夫されている。 ・送迎時に連絡帳でその日の様子を伝えている。 ・提供記録のファイルのやりとりや送り迎えの際にその日の様子を伝えるように気をつけている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・摂食に関する講演への保護者の参加などがあった。	ペアレント・トレーニングの開催のために、職員の研修を実施していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・きょうだい同士の交流機会は現在行っていない。 ・運動会や歯科の研修等で交流する機会を設けている。 ・運動会を開催し、交流できる機会が増えていると思う。	まず、保護者様同士が交流できる機会を作ってきたい思います。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・マチコミを活用し、発信している。 ・マチコミを活用している。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・センター、家庭での様子を共有している。 ・1人1人に合わせて、伝わりやすい方法で行うよう配慮している。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3		課題と感じています。イベントに参加して頂くようにしていきたいと思えます。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・月1回、避難訓練を行っている。	引き渡し訓練の実施や、職員に対しては、全職員対象に被害の際の連絡方法を実施しました。引き続きBCPのための訓練を実施していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングで看護師より利用児童でてんかん発作、アレルギーの確認をしている。 ・ミーティングで毎日看護師と情報共有しながら十分に注意している。 ・細かく聞き取り、職員間で共有している。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の夕方と当日の朝のミーティングで対象児童を共有している。 ・看護師を中心に職員間で共有できるようにその都度、報告をしてくれている。 ・主に看護師が給食の献立をチェックし、全職員も確認している。 ・毎朝、確認してもらっている。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・共有し、職員間で周知し、再発防止に検討していく。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修、全体会議で行っている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		